

九州労働金庫 2025年6月

「お客さま本位の業務運営」に関する 取組状況報告

1. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の策定・公表

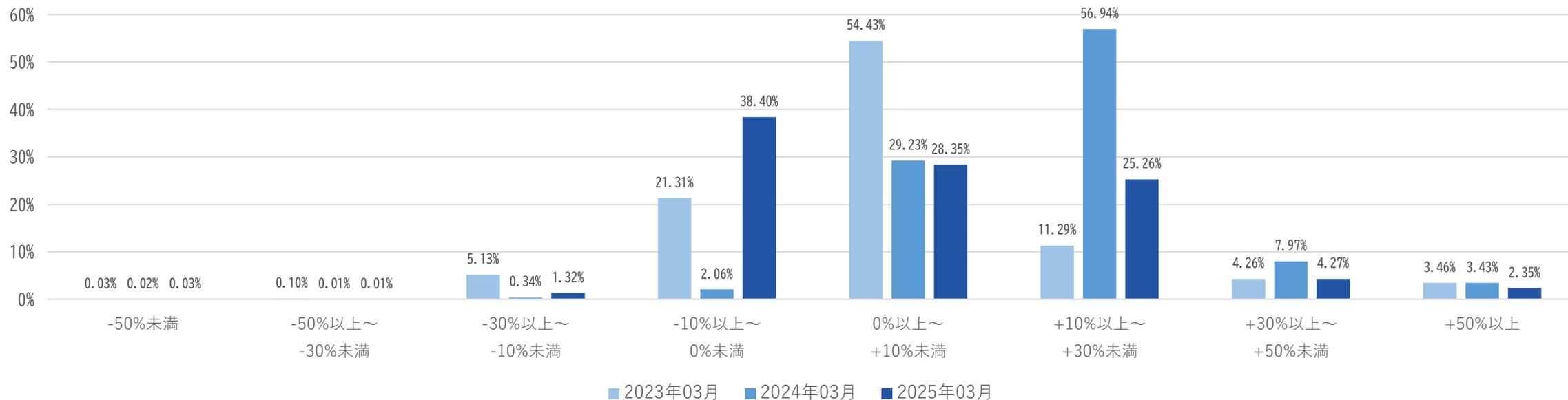
- 九州労働金庫は、これまで取り組んできた勤労者本位の事業運営の精神・活動をふまえ、変化する時代の要請にこたえるべく、「ろうきんの理念」や金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」（以下：取組方針）を策定・公表しています。
- 策定した取組方針に対する2024年度の取組状況、及び、成果指標（KPI）につきまして本報告書にて報告いたします。

お客さま本位の業務運営に関する取組方針	顧客本位の業務運営に関する原則	対応ページ
1. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の策定・公表	原則1	P2
2. お客さまの生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取り組み	原則2	P3 – P6
3. 利益相反を適切に管理する取り組み	原則3	P7
4. 手数料等に係る情報提供の取り組み	原則4	P8
5. お客さまの立場に立ったわかりやすい情報提供の取り組み	原則5	P9
6. お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み	原則6	P10 – 15
7. 職員への定着と実践に向けた取り組み	原則7	P16 – 17

2. お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取り組み

- 当金庫は「ろうきんの理念」のもと、役職員一人ひとりが法令・ルールへの遵守や社会的規範を尊重して業務を行っています。また、預かり資産販売業務に係る研修において、お客様のニーズやライフプランに即した金融商品・サービスの提案を行うように指導しています。
- 当金庫は教育研修方針を策定し、職業倫理や職員の預かり資産販売業務に関する専門性を高めるため、研修の実施や資格取得の奨励を行っています。
- 投資信託を保有されているお客様について、2025年3月末時点での運用損益（購入時以降の累積された運用損益）を示しています。運用損益がプラスとなっているお客様の割合は60.23%となり、前年度（2024年3月末時点）97.57%と比較して、37.34ポイント減少しています。

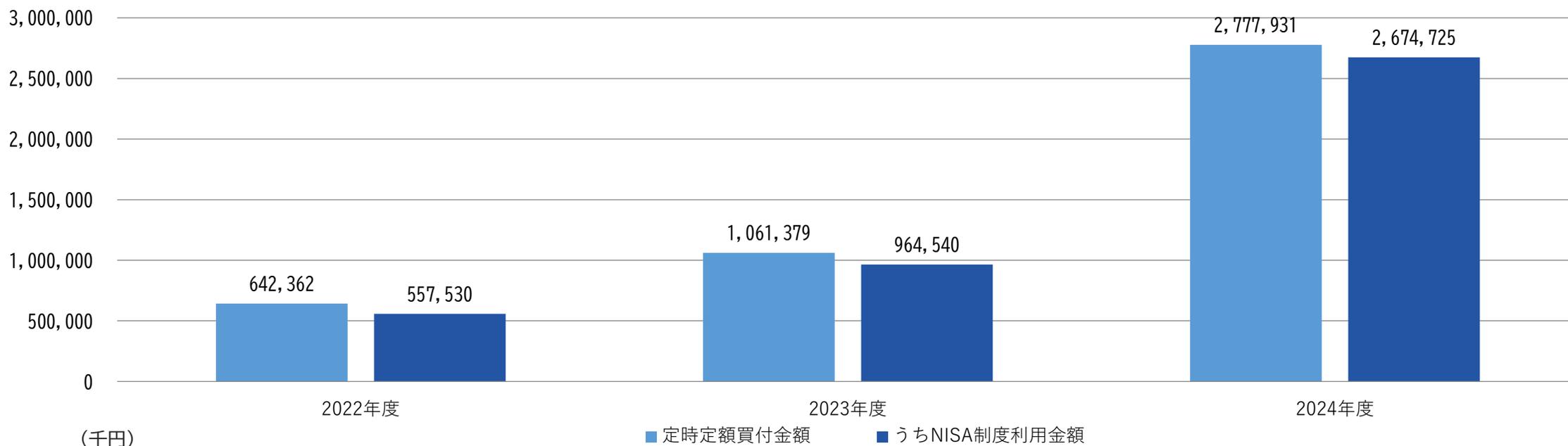
運用損益別顧客比率



2. お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取り組み

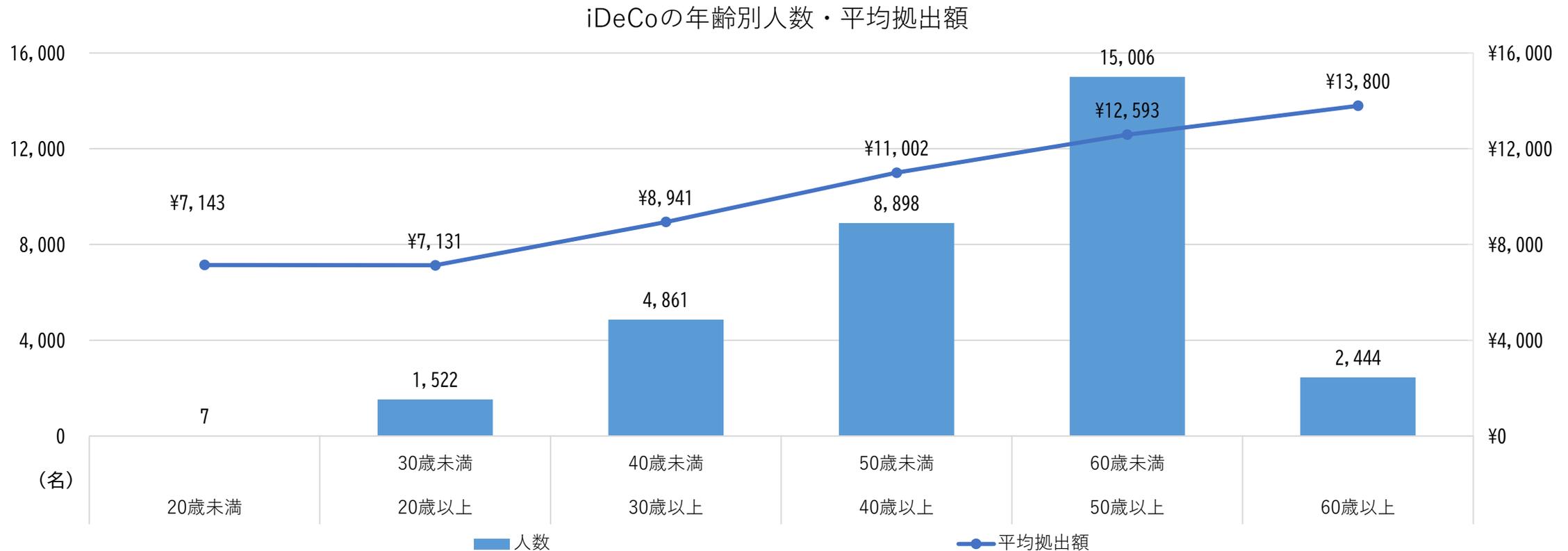
- 毎月もしくは指定間隔月ごとに買付、積み立てていく定時定額での投資信託の買付金額、及び、NISA制度を利用した定時定額での買付金額を示しています。当金庫では、お客様の生活を生涯にわたってサポートすることや長期的な資産形成を促すことを目的に、「資産分散」「長期投資」「時間分散」によるリスク分散が可能な定時定額買付での投資信託購入の提案を行っています。
- 前年度（2023年4月～2024年3月）と比較して、年間の定時定額買付金額は、161.7%増加しました。また、NISA制度を利用した年間の定時定額買付金額割合は、前年度90.8%から96.2%へ増加しています。

定時定額買付金額の推移



2. お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取り組み

■ iDeCo（個人型確定拠出年金）におけるご契約者さまの年代別人数、平均拠出額を示しています。当金庫では、セカンドライフに向けた資産形成の一つであるiDeCoの提案を行っています。安定した老後の資産形成に向けて、1年間で1,657名の契約者が増加しました。2025年3月末時点で、契約者数は32,738名、契約者の平均年齢は48.14歳となりました。

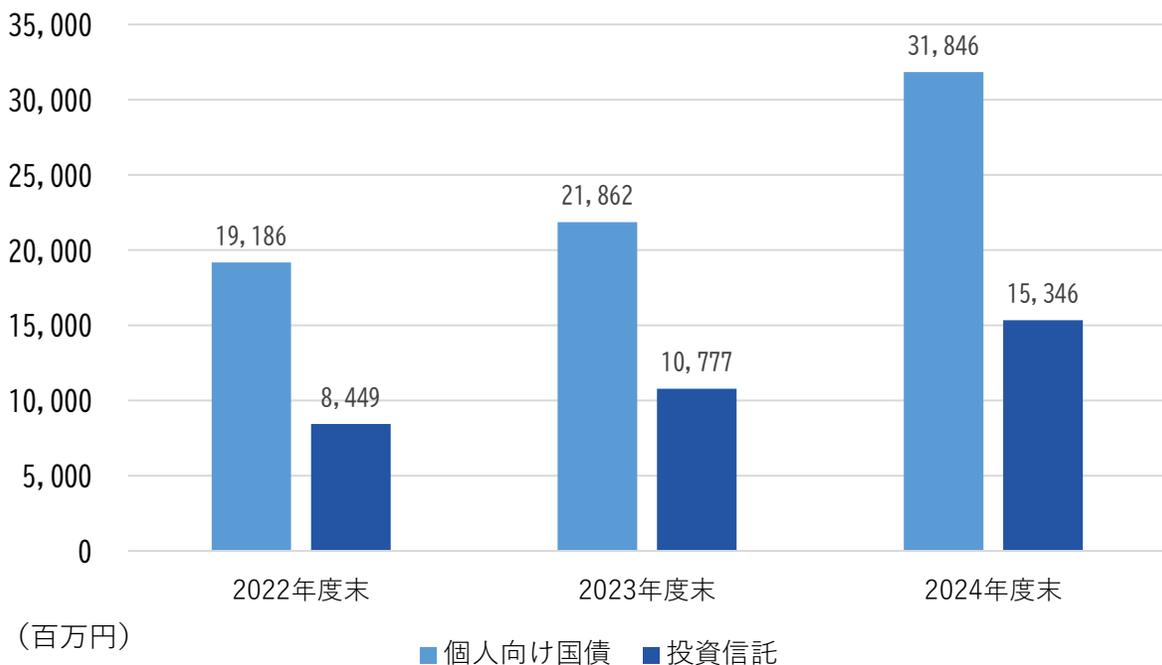


「60歳以上」の方には既に拠出を終えている方も含まれており、平均拠出額は原則該当月に60歳をむかえる方を対象とします。

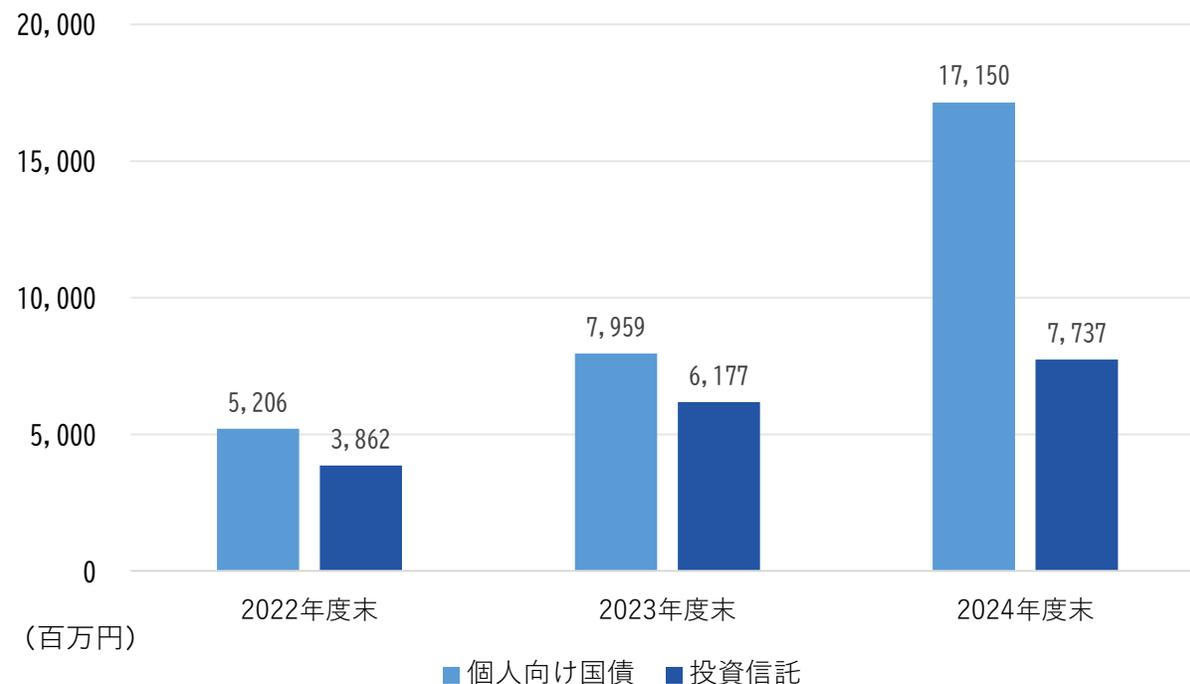
2. お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取り組み

■ 年度ごとの個人向け国債、及び、投資信託の年間販売実績、残高を示しています。営業部において、お客様一人ひとりの資産状況、ライフプラン、ニーズ、リスク許容度等を考慮した提案・アドバイスを実施したこと等により、個人向け国債、及び、投資信託の販売額・残高、ともに増加しています。

個人向け国債・投資信託残高



個人向け国債・投資信託年間販売実績



3. 利益相反を適切に管理する取り組み

- 当金庫は、お客さまの利益が不当に害されることがないように、ホームページに公開している「利益相反管理方針」に基づき、利益相反について統括する部署（リスク統括部コンプライアンス室）を設置し、一元的に対応する体制を整備する等、お客さまの保護と正当な利益確保に努めるため、適切な管理を行っています。
- 中長期的な資産形成をサポートすることやお客さまにわかりやすい商品を選定する観点から、投資信託をラインナップに加える際は、類似する複数の投資信託の運用方針や運用体制、リスク、リターン、ご負担いただく手数料等を比較検討し、選定しています。また、ラインナップに加えた後も、運用力や信頼性、運用実績等について外部機関による客観的な評価も加えたモニタリングを定期的に行い、適宜、見直しています。
- 商品提供会社から販売会社（当金庫）へ支払われる手数料に関係なく、お客さまの中長期的資産形成に資する金融商品を選定し、お客さまにふさわしい商品を提案しています。

保険 ラインナップ

カテゴリ			商品数	(構成比※)
円建	全期前納5年	終身認知症年金保険		
円建	一時払い	終身介護保険	1	33.33%
円建	一時払い	終身保険	1	33.33%
合計			3	100.00%

※ 当金庫では、外貨建ての保険の取り扱いはございません。

投資信託 ファンドラインナップ

投資対象地域	投資対象資産	商品数	(構成比)	購入時手数料なし (ノーロード)	ESG商品
	株式	9	13.24%	3	3
	バランス	1	1.47%	0	0
	REIT	3	4.41%	1	0
海外	債券	4	5.88%	3	0
	株式	9	13.24%	6	0
	バランス	1	1.47%	0	0
	REIT	5	7.35%	2	0
内外	債券	5	7.35%	0	0
	株式	7	10.29%	1	1
	バランス	23	33.82%	6	1
合計		68商品	100.00%	23商品	5商品

4. 手数料等に係る情報提供の取り組み

- 当金庫は、お客さまにご負担いただく手数料等について、ホームページやパンフレット等において商品・サービスごとにわかりやすい表示を行っています。また、職員による説明を行う際にも、お客さまにご理解いただけるように努めています。
- 投資信託に係る手数料については、商品間での比較が容易にできるよう、ホームページ掲載のファンド一覧に表示しています。また、お客さまにご負担いただく手数料がどのようなサービスの対価に関するものかを、わかりやすく丁寧に説明を行うように努めています。

投資信託取扱ファンド一覧のパンフレット

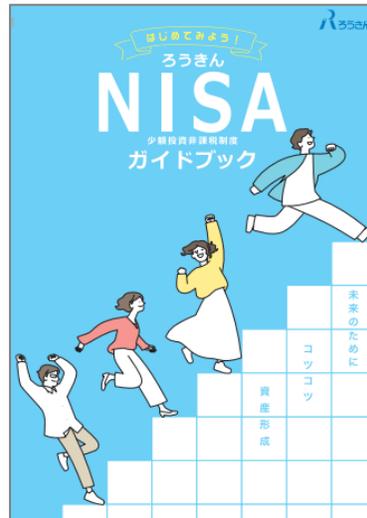
The image shows a detailed table of investment funds. The table has columns for fund name, asset class, and various fees. It lists 68 funds, including domestic and international equity funds, bond funds, and index funds. Each entry includes a brief description of the fund's strategy and investment focus.

ホームページ上における投資信託取扱ファンド一覧

The image shows the online version of the fund list. It features a search bar, filters for asset classes (Domestic Equity, Domestic Bond, International Equity, International Bond, Balance, REIT, ESG), and a list of funds with their respective fees and investment methods. The interface is user-friendly and allows for easy comparison of funds.

5. お客様の立場に立ったわかりやすい情報提供の取り組み

- 投資信託のお取引に関する重要な情報（基本的な利益、損失その他のリスク、取引条件等）については、重要情報シート・交付目論見書等の各種資料やホームページ等を通じて、わかりやすく情報提供を行っています。
- お客様に情報提供する際は、商品・サービスをご理解いただけるよう、お客様の金融知識、経験、商品の複雑さ、情報の重要性を考慮した対応を心がけています。また、より重要な情報については、強調して説明する等、お客様にご理解いただけるよう努めています。
- 投資信託やNISA制度を容易にご理解いただけるよう「投資信託ガイドブック」、「NISAガイドブック」、NISA制度について分かりやすく説明したパンフレット「九州ろうきんではじめるNISAでつみたて」、営業店窓口の説明用資料「九州ろうきんではじめる投資信託」を作成しています。
- 現在、取り扱っている投資信託において、パッケージ商品に該当する「ファンドオブファンズ形式」の商品がございますが、個別のファンドごとの購入には対応していません。



1 商品等の基本情報	
商品名	九州労働金庫
運用資産	国内債券
加入条件	年齢制限あり
募集期間	常時募集
運用期間	常時運用
解約	いつでも解約可能
手数料	運用コスト
リスク	元本割れあり
その他	運用期間中に解約すると手数料がかかります。

2 特徴	
商品名	九州労働金庫
運用資産	国内債券
加入条件	年齢制限あり
募集期間	常時募集
運用期間	常時運用
解約	いつでも解約可能
手数料	運用コスト
リスク	元本割れあり
その他	運用期間中に解約すると手数料がかかります。

3 商品ラインアップの考え方	
商品名	九州労働金庫
運用資産	国内債券
加入条件	年齢制限あり
募集期間	常時募集
運用期間	常時運用
解約	いつでも解約可能
手数料	運用コスト
リスク	元本割れあり
その他	運用期間中に解約すると手数料がかかります。

4 情報・相談窓口	
九州労働金庫	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1
九州労働金庫	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1
九州労働金庫	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1

6. お客様一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

- 当金庫は、お客様の意向を確認したうえで、目標資産額や安全資産（預金・国債等）と投資性資産（投資信託等）の適切なバランスを検討し、中長期的な資産形成を構築するための商品販売・推奨を行っています。
- 具体的な提案を行う場合は、当金庫で取り扱う預金・投資信託・保険等の金融商品の中から、類似商品・サービスや代替商品の手数料、商品性を比較しながら、提案しています。
- 金融商品の販売・推奨を行う際は、お客様の属性が金融商品の組成会社（投資信託：ファンド会社、保険：保険会社）が販売を想定している内容と一致するか確認しています。また、複数の金融商品等をパッケージ化して提案・販売する際は、お客様に適正なものか検討し、提案・販売しています。
- 複雑、または、リスクの高い金融商品を販売・推奨する場合や、高齢者等の金融取引被害を受けやすい顧客層に対する商品の販売・推奨等を行う場合は、商品性や顧客属性に応じて、販売・推奨することが適切か慎重に判断しています。
- 当金庫は、お客様への適正な金融商品の勧誘を行うための「金融商品に関する勧誘方針」、共済・保険商品の適正な募集をするための「共済募集指針」「保険募集指針」等を定め、ホームページに掲載し、公表しています。

6. お客様一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

- お客様の金融リテラシー向上のため、営業部店で作成した資料や全国労働金庫協会作成の小冊子「マネートラブルにかつ！」等を活用した「金融教育セミナー」や、ライフプランニング、投資信託に関する情報提供を目的とした「ライフプランセミナー」を開催しました。

	開催回数（延べ）	参加人数（延べ）
消費者・金融教育セミナー	2,259回	45,108人

（2024年4月～2025年3月）

- 投資信託を保有されているお客様に対して、安心してお取引いただくために、当金庫の「投信サポートセンター」が定期的に運用状況の確認や、市況環境の変化に関する情報提供等のアフターフォローを行っています。

	回数（延べ）	人数
アフターフォロー実績	4,130回	1,834人

（2024年4月～2025年3月）

6. お客様一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

■ 2024年4月～2025年3月における販売上位10銘柄を示しています。

窓口販売・インターネットバンキングにおける投資信託販売上位10銘柄

順位	商品名	NISA (つみたて投資枠) 対象	カテゴリー別	決算頻度	販売区分		(参考) 2023年度順位
					店頭	ネット	
1	たわらS & P 500	○	海外株式	年1回		○※	3
2	たわら先進国株式	○	海外株式	年1回		○※	2
3	たわら日経225	○	国内株式	年1回		○※	1
4	たわら全世界株式	○	内外株式	年1回		○※	4
5	のむラップ (積極型)		内外 バランス型	年1回	○	○	5
6	のむラップ (普通型)		内外 バランス型	年1回	○	○	7
7	iFree TPX	○	国内株式	年1回		○※	21
8	IDXナスダック米株		海外株式	年1回	○	○	8
9	つみたて8資産均等B	○	内外 バランス型	年1回		○※	11
10	eMAXIS 米ダウ	○	海外株式	年1回		○※	10

定時定額買付における投資信託販売上位10銘柄

順位	商品名	NISA (つみたて投資枠) 対象	カテゴリー別	決算頻度	販売区分		(参考) 2023年度順位
					店頭	ネット	
1	たわら先進国株式	○	海外株式	年1回		○※	1
2	たわらS & P 500	○	海外株式	年1回		○※	7
3	たわら全世界株式	○	内外株式	年1回		○※	2
4	たわら日経225	○	国内株式	年1回		○※	3
5	つみたて8資産均等B	○	内外 バランス型	年1回		○※	4
6	eMAXIS 米ダウ	○	海外株式	年1回		○※	5
7	eMAXIS (MF)	○	内外 バランス型	年1回		○※	6
8	eMAXIS (ST)	○	内外 バランス型	年1回		○※	8
9	eMAXIS (FW)	○	内外 バランス型	年1回		○※	10
10	iFree 新興株式	○	海外株式	年1回		○※	9

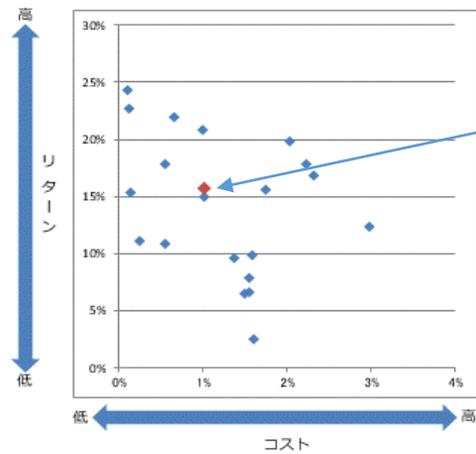
※NISA (つみたて投資枠) 対象ファンドは、「NISA (つみたて投資枠)」での定時定額契約 (新規・変更・廃止) ・解約の場合のみ店頭でもお取扱しております。

6. お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

■ 設定後5年以上経過している投資信託預り残高上位20銘柄（2025年3月末現在）のコスト、リスクおよびリターンを示しています。

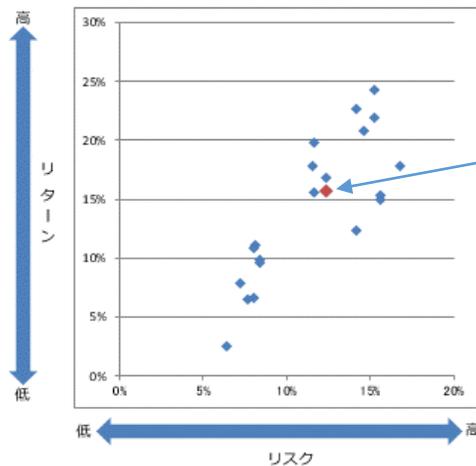
2025年3月末 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン（共通KPI）

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重 平均値	コスト	リターン
	1.02	15.66

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重 平均値	リスク	リターン
	12.33	15.66

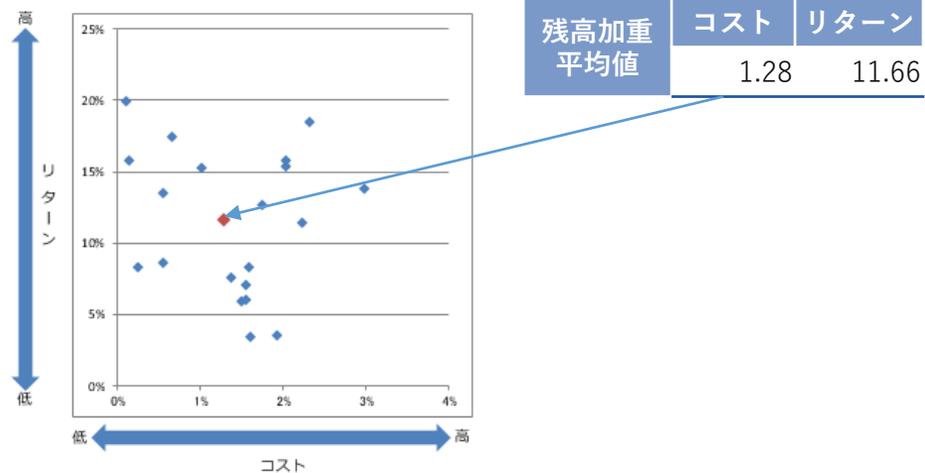
順位	商品名	コスト	リスク	リターン
1	たわらノーロード 先進国株式	0.10	15.27	24.29
2	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	7.71	6.56
3	たわらノーロード 全世界株式	0.11	14.20	22.66
4	たわらノーロード 日経225	0.14	15.63	15.39
5	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74	11.61	15.64
6	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57	8.43	9.83
7	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	17.80
8	インデックスファンド225	1.01	15.62	15.00
9	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	8.39	9.60
10	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.10	11.13
11	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	14.21	12.31
12	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	15.28	21.96
13	三菱UFJマッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）<愛称：世界のいしずえ>	1.54	8.03	6.65
14	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99	14.62	20.83
15	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	8.04	10.86
16	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55	11.52	17.86
17	ダイワ好配当日本株投信	2.04	11.64	19.85
18	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.60	6.37	2.49
19	世界三資産バランスファンド（毎月分配型）	1.54	7.25	7.85
20	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.31	12.34	16.87

6. お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

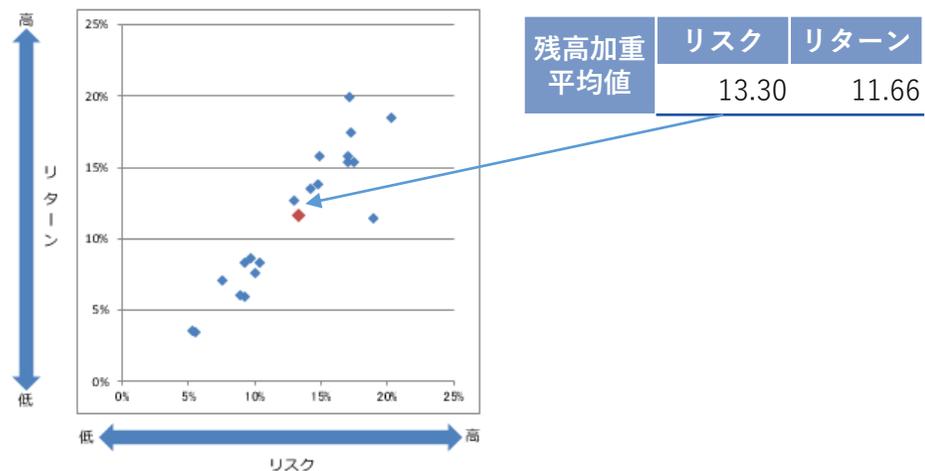
■ 設定後5年以上経過している投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末現在）のコスト、リスクおよびリターンを示しています。

2024年3月末 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン（共通KPI）

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



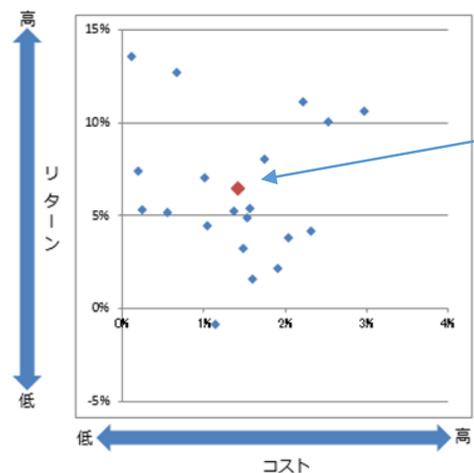
順位	商品名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.28	5.94
2	たわらノーロード 先進国株式	0.10	17.20	19.90
3	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	18.94	11.41
4	インデックスファンド225	1.01	17.02	15.33
5	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	10.06	7.59
6	たわらノーロード 日経225	0.14	17.03	15.75
7	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	14.82	13.85
8	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74	12.98	12.68
9	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57	9.29	8.36
10	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	17.26	17.48
11	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
12	三菱UFJマコーリーグローバル・インフラ債券ファンド〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）〈愛称：世界のいしずえ〉	1.54	8.87	6.03
13	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.60	5.52	3.47
14	世界三資産バランスファンド（毎月分配型）	1.54	7.54	7.06
15	ニッセイSDGsグローバル・セレクトファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.02	17.43	15.41
16	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.31	20.36	18.45
17	ダイワ好配当日本株投信	2.04	14.87	15.74
18	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	9.68	8.62
19	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.91	5.33	3.55
20	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55	14.24	13.53

6. お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取り組み

■ 設定後5年以上経過している投資信託預り残高上位20銘柄（2023年3月末現在）のコスト、リスクおよびリターンを示しています。

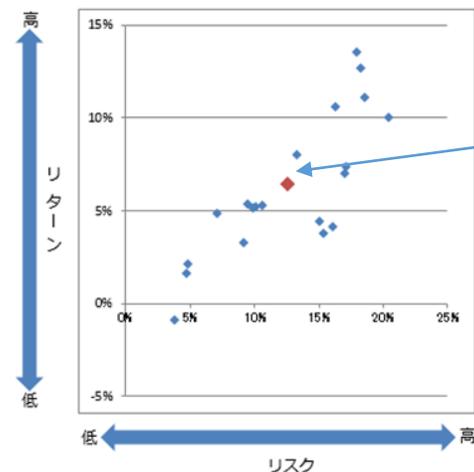
2023年3月末 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン（共通KPI）

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重 平均値	コスト	リターン
	1.42	6.45

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重 平均値	リスク	リターン
	12.61	6.45

順位	商品名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.16	3.25
2	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	18.52	11.13
3	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	10.14	5.23
4	たわらノーロード 先進国株式	0.11	17.99	13.54
5	インデックスファンド225	1.01	17.06	7.03
6	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	16.30	10.59
7	たわらノーロード 日経225	0.19	17.07	7.40
8	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.60	4.75	1.60
9	世界三資産バランスファンド（毎月分配型）	1.54	7.14	4.86
10	のむらップ・ファンド（積極型）	1.74	13.28	8.06
11	のむらップ・ファンド（普通型）	1.57	9.46	5.40
12	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.91	4.78	2.16
13	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.59	5.32
14	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.14	3.76	▲ 0.89
15	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	18.21	12.71
16	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.53	20.40	10.03
17	ダイワ好配当日本株投信	2.04	15.36	3.82
18	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	9.85	5.16
19	インデックスファンド Jリート	1.05	15.01	4.42
20	損保ジャパン・グリーン・オープン	2.31	16.04	4.14

7. 職員への定着と実践に向けた取り組み

- 営業責任者・内部管理責任者を対象とした研修や、証券外務員資格保有者全員を対象とした職場内研修において、「顧客本位の業務運営」に対する職員への意識醸成を図りました。
- 職員の商品提案力、及び、保有知識の向上をめざし、「資産形成アドバイザー研修」「FA育成研修」を実施しました。
- 「ろうきんの理念の追求」「労働金庫の社会的責任及び公共的使命を自覚した行動」「誠実かつ公正な業務の遂行」の徹底に向けて、若年層を中心とした階層別研修で、ろうきんの理念や役職員倫理綱領をテーマとした研修を実施しました。

お客さま本位の業務運営に資する研修

研修名	主な研修内容	回数	受講者数 (延べ)
資産形成アドバイザー研修	ライフプランを前提としたコンサルティング手法 おさえておきたいFP知識	2回	108名
FA育成研修	FP1級検定試験対策講座	3回	15名
支店長マネジメント研修	金融商品販売における支店長の役割	1回	11名

(2024年4月～2025年3月)

「ろうきんの理念」等に資する研修

研修名	回数	受講者数 (延べ)
入庫2年目職員研修	1回	51名
入庫前説明会 (2024年6月・7月入庫)	1回	5名
入庫前説明会 (2024年10月入庫)	1回	6名
入庫前説明会 (2025年1月入庫)	1回	7名
入庫前研修 (2025年4月入庫)	1回	31名

(2024年4月～2025年3月)

7. 職員への定着と実践に向けた取り組み

- 当金庫の人事評価制度においては、業績評価の目標項目に「お客さま本位の営業活動の実践」を取り入れ、具体的達成基準を例示する等して、職員にお客さま本位の営業活動の実践を促しています。
- お客さま本位の営業活動の実践に向けて、預かり資産販売や金融業務におけるその他の資格取得の奨励を行っています。特に、コンサルティング力の向上に資するFP（ファイナンシャル・プランニング）の資格取得を奨励するとともに、庫内報にFPに関する記事を掲載する等、FP資格取得の推奨や意識の醸成に取り組んでいます。

ファイナンシャル・プランニング 資格保有割合一覧 (2025年3月末現在)

資格名	取得者数	保有割合
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	33名	2.74%
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	497名	41.31%
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	603名	50.12%

※ 正職員、契約職員、再雇用嘱託職員合計1,203名における割合

以上